

鹿病防第24号
平成23年8月12日

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成23年度 技術情報第9号（普通期水稻のいもち病）について（送付）

いもち病の今後の防除対策について、下記のとおりとりまとめましたので送付します。

.....

平成23年度 技術情報第9号

1 対象病害虫 いもち病

2 対象作物 普通期水稻

3 発生状況

- (1) 7月13日～22日の巡回調査における発生ほ場率は9%で、平年（過去10年の平均）の22%より低かった（表1）。
- (2) 8月1日～8月5日の巡回調査では、発生ほ場率が37%で平年（過去7年の平均（2001年，2002年，2006年～2010年））の44%よりやや低いものの，7月13～22日調査の約4倍となった（表1）。
- (3) 8月1日～8月5日の巡回調査において，発生程度が中以上の発生ほ場率は13%で平年（過去7年の平均（2001年，2002年，2006年～2010年））の5%より高い（表2）。

4 防除上注意すべき事項

- (1) いもち病の上位葉への発生が認められる場合は，粉剤または液剤で早急に防除を行う。
- (2) いもち病の常発地や葉色が濃いほ場では，穂肥の施用は控える。
- (3) 粉剤または液剤による穂いもち防除は，穂ばらみ期と穂揃期の2回行う。
- (4) 農薬の使用基準を遵守し，薬剤散布にあたっては飛散に十分注意して行う。

(参考資料)

表1 葉いもちの発生状況

| 地域名 | 発生ほ場率(%) | | | |
|------|----------|----|--------|----|
| | 7月中下旬調査 | | 8月上旬調査 | |
| | 平成23年 | 平年 | 平成23年 | 平年 |
| 南 薩 | 0 | 10 | 0 | 33 |
| 北薩平坦 | 8 | 23 | 21 | 35 |
| 北薩山間 | 9 | 24 | 55 | 60 |
| 大 隅 | 17 | 23 | 67 | 48 |
| 県 計 | 9 | 22 | 37 | 44 |

平成23年の7月中下旬調査は7月13～22日，8月上旬調査は8月1～5日に実施

7月中下旬調査の平年値は2001年～2010年までの平均，

8月上旬調査の平年値は2001年～2002年，2006年～2010年までの平均

巡回調査地点

南 薩：南九州市知覧町永里・川辺町古殿・川辺町勝目，日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦：鹿児島市東佐多町，蒲生町楠田，始良市三拾町，霧島市隼人町住吉・国分上小川，

薩摩川内市宮崎・高江，入来浦之名，阿久根市鶴川内，出水市野田町屋地・高尾野町東干拓・六月田

北薩山間：さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手，

伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・大田・山野，湧水町北方

大 隅：曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里

表2 葉いもちの発生程度別ほ場割合(8月上旬調査)

| 地域名 | 発生程度別割合(%) | | | | |
|-------|------------|---|----|----|-----|
| | 甚 | 多 | 中 | 少 | 無 |
| 南 薩 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 北薩平坦 | 0 | 4 | 0 | 17 | 79 |
| 北薩山間 | 0 | 0 | 5 | 50 | 45 |
| 大 隅 | 0 | 0 | 50 | 17 | 33 |
| 県 計 | 0 | 2 | 11 | 24 | 63 |
| 平 年 | 0 | 1 | 4 | 39 | 56 |
| 2010年 | 0 | 0 | 2 | 17 | 81 |
| 2009年 | 0 | 0 | 4 | 61 | 35 |
| 2008年 | 0 | 0 | 2 | 44 | 54 |
| 2007年 | 0 | 0 | 0 | 10 | 90 |
| 2006年 | 0 | 0 | 0 | 20 | 80 |
| 2002年 | 0 | 2 | 8 | 70 | 19 |
| 2001年 | 0 | 2 | 15 | 53 | 30 |

発生程度

甚：下葉は枯死し，完全なずり込み症状を呈する(病斑面積率 50%以上)

多：かなり病斑がみられ軽いずり込み症状を呈する(病斑面積率 10%程度)

中：病斑がかなりみられる(病斑面積率 2%程度)

少：病斑がわずかにみられる(病斑面積率 0.5%程度)

無：病斑なし